

銭文をX線CTで判読する

新庁舎の完成にあわせて、新たに導入された高エネルギーX線CTを用いて、さし銭の撮影をおこないました。その結果、さし銭を分離することなく、その銭文を判読することに成功しました。100枚のさし銭のうち、判読できた94枚はすべて和同開珎であることがあきらかになりました。

(所長 松村 恵司／埋蔵文化財センター 田村 朋美・柳田 明進)



滋賀県日野町宮ノ前遺跡出土「さし銭」

8世紀と考えられる土坑状の落込みから出土した、土師器甕のなかから発見されました。100枚の銭が「さし銭」の形で甕に納められていたと考えられています。